

新「CENTRO（セントロ）」、6月1日受注開始 ～憧れを、よろこびに変える。～

クリナップ（本社：東京都荒川区 代表取締役 社長執行役員：竹内 宏）は、日本で初めてシステムキッチンを発表して50年目となる本年、フラッグシップ商品であるステンレスシステムキッチン「CENTRO（セントロ）」をモデルチェンジし、6月1日より受注開始します。

2018年のブランド刷新から初の大規模モデルチェンジとなる新「CENTRO」は、“憧れを、よろこびに変える。”のコンセプトの下、高品質と洗練されたデザイン、そして使う人のことを考えた機能を充実させ、一人ひとりの憧れと理想を形にします。

■ 洗練された印象を実現する3つのポイント

① 塊感のあるデザイン

ワークトップ、シンク、扉カラーを大幅刷新。特にセラミックワークトップに「鏡面仕上げ」と「木目柄」を追加。扉面、ワークトップ面、側面を合わせることで、洗練された塊感のあるデザインが実現します。

② 空間の統一感

ワークトップ素材でキッチンから一体的につながり、統一感を広げるダイニングテーブルや、ワークトップと同じセラミックを使ったサイド化粧板を導入します。

③ ブランド機器

2018年から導入し好評の海外ハイブランド「ミーレ」の食器洗い乾燥機に続き、今回はSNS上でも人気のハイブランド水栓をラインナップします。



■ 主な新アイテム

・ 硬質アクリル系人工大理石「フォルテックス」

従来の人工大理石「アクリストン」より硬度を上げ、丈夫さが増した新素材・硬質アクリル系人工大理石「フォルテックス」をワークトップや、シンクに展開します。特にシンクはセラミックワークトップとの組み合わせも可能。一体感のあるコーディネートが実現します。



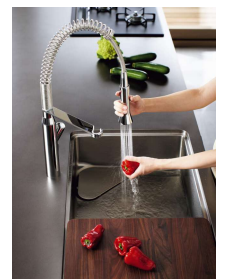
・ 独自技術“ダーク美コート”ワークトップ「バイブレーションダーク」

従来の美コートと同等の親水性や耐久性を持ちながら発色できる、新しいコーティング材とコーティング技術を開発。従来のステンレスより落ち着いた色味で、空間に馴染みやすい質感のステンレスでありながら、汚れが付きにくく落としやすい、高機能ワークトップです。



・ 新標準シンク「流レールスクエアシンク」

無駄な曲線を取り除いたシャープな印象の新型「流レールシンク」。排水口までの一体成型のプレスシンクとしては業界最小の角R（※）を実現しました。※シンクコーナー部の半径



・ 憧れのハイブランド水栓

グローエ製、ハンスグローエ製の水栓を導入。キッチンの塊感や空間の統一感を実現し、アクセントとして、より引き立ちます。

そのほか、扉カラーなども刷新。全40色の扉色と、8種類の取手タイプ、4素材25種のワークトップの組み合わせで、憧れのインテリアを実現します。

右記より画像が入手できます：<https://cleanup.jp/press/>

お問い合わせ
クリナップ(株) 総務部 広報課
<https://cleanup.jp/>